



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年10月20日（金）No 24 発行
文責：松本 卓也

絵に描くことでふるさとへの愛情が何倍にもなる ～校内写生大会～

13日（金）、校内写生大会を行いました。写生大会の目的は以下の通りです。

- (1) 自分たちの身の回りにある風景を見つめ直し、地域の良さや対象の美しさを再発見するとともに、郷土を愛する豊かな心を養う。
- (2) 屋外で風景を描くことにより、心身を解放し、絵画制作上の能力を高めながら、自己の表現の喜びを味わう。

最近の中学校では、さまざまな行事との兼ね合いもあり、写生大会を開催しないところが多くなりました。しかし、実際に風景を見て絵に向き合う時間は、中学生にとって大切な経験です。昨年、3年生だったKさんが描いた「重見橋」が、「八代亜紀絵画コンクール」で見事大賞を受賞しました。主催者の八代亜紀さんは、「絵に描くことでふるさとへの愛情が何倍にもなる。多くの人にふるさとの絵をかいてほしい。」と話されています。（引用：熊本日日新聞）今年もぜひ、ふるさと東陽への思いをキャンパスに表現してほしいと願います。子どもたちが描いた作品は、11月1日（水）の文化祭で展示します。多くの保護者の皆さまのご来校をお待ちしております。



スポーツの秋から文化の秋へ

八代地区科学発明工夫展が、7日（土）、8日（日）桜十字ホールやつしろで開催されました。本校からも、2年生Hさんの自由研究「コインを入れてもこぼれない液体は何だ！」を出品しました。「メッセンジャーRNA」を使ったワクチン開発に道を開き、今年度のノーベル生理学賞・医学賞を受賞したアメリカ、ペンシルベニア大学のカリコ特任教授は、記者会見で「楽しまなければなりません。自分のすることが楽しくないなら、やるべきではありません。」と述べています。探求する楽しさ、感じてみませんか。



盛り上がりました！ ～スポーツ大会～

先週、10日（火）から12日（木）にかけて、体育委員会主催の「スポーツ大会」が行われました。種目はサッカー、女子が決めたら3点の特別ルールもあり、各学級で作戦を練って試合に臨みました。結果は、1年対2年は2-0、1年対3年は0-4、2年対3年は3-0と、各チーム1勝1敗と、どの試合も手に汗握る熱戦が繰り広げられました。親睦を深めた楽しい一時でした。体育委員会の皆さん、ありがとうございました。



【編集後記】「東陽の旋風」への返信を頂いています。

- ▼学校だより「東陽の旋風」も第24号となりました。保護者の方々からたくさんの返信をいただき、大変嬉しく思います。いくつかご紹介します。
- ・駅伝大会の応援に行きましたが、東陽中学校ならではの一体感に感激しました。
- ・選手として頑張っている姿を見ることができ、嬉しかったです。他の学校の生徒さんたちにも、一生懸命応援している姿を見て感動しました。
- ・学校評価の結果、見ました。家でも少しずつ改善できるといいです。
- ▼返信は励みになります。ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）